



工藤 秀子 議員



録画映像

農業経営安定化に関する件

**問** 水田活用の直接交付金の見直しにより今後の北斗市農業への影響は

**答** 市長  
交付金の対象外となった農地は耕作放棄地になる可能性や地域農業の衰退などにつながる恐れが懸念される

**問** 米政策による水田活用の直接支払交付金の急激な見直しの中で、国の政策転換や交付金などに変化があると思います。

水田活用の直接支払交付金の交付対象水田の見直しで、今後の北斗市農業への影響と市としての今後の取り組みは。

**答** (市長) 見直しによって懸念されることは、賃貸借契約や使用貸借契約により、所有者以外の農業者によって耕作されてきた農地が、交付金の対象とならなくなった場合、その後の契約更新が行われなくなるといった問題が生じ、新たな借り手が見つからない農地は、耕作放棄地となる可能性や地域農業の衰退、食料自給

率の低下につながる恐れがあります。国では、令和4年度に様々な懸念に対し、水田を畑地化し畑作物の本作化する農業者に生産が安定するまでの一定期間、継続的に農業者を支援する「畑地化促進事業」などを創設していますので、市としては、今後も水田として活用を行わない農業者に対し、個別の聞き取り等を行い、助成を申請するよう提案しています。また、国に対しては、北海道市長会などを通じ、必要な対策を講ずるよう、要望してまいります。



北斗市内の水田（春）

ワインによる地域振興に関する件

**問** 協議会の各事業者による事業の進捗状況は

**答** 市長  
2事業者のワイナリーが5年秋に完成し、1事業者のワイナリーは6年秋に完成予定、農泊施設については遅延の見込み

**問** 文月・向野6次産業化協議会によるワイナリーを核とした関連事業は国及び北斗市による支援を受け、各事業計画が順調に推移していると思いますが、協議会の各事業者の事業の進捗状況及び事業予定をお知らせください。

**答** (市長) 現在、文月・向野地区には、北斗市がワイン用ぶどう栽培の適地として高く評価され、複数のワイナリーや農泊施設の建設などが進んでおり、市としても財政的支援をはじめ、地域経済の活性化に向けた様々な取り組みを進めています。

各事業者の事業の進捗状況及び予定については、令和5年9月に2事業者のワイナリーが完成し、初醸造が行われ、他の1事業者のワイナリーについては、令和6年秋頃の完成に向けて順調に工事が進んでいると伺っています。

今後、北斗市のワイナリーで醸造したワインが日本全国や海外にて提供され、本市の知名度向上に資するものと期待しています。

また、農泊施設に関しては、資材や建設費の上昇等の要因により、国の補助金も含めた事業計画の精査を改めて行っているところであり、農泊施設整備のスケジュールには、遅延が見込まれています。市としては、来年度もワインによる地域活性化検討会議を開催し、ワインを核

とした地域活性化ビジョンの実現に向け、観光振興をはじめとした様々な分野への効果の波及に努めてまいります。

北斗市商店街等元気づくり事業補助金に関する件

**問** 改善確認のなかった事業主のその後の状況は

**答** 市長  
事業計画や制度に沿って改善などがされている

**問** 補助金を受けている事業主の中で経営状態について指導・助言を行ったが改善確認のない事業主がありました。

改善確認のなかった事業主の現状での経営状況と事業確認後の状況をお知らせください。

**答** (市長) 訪問調査で改善確認のなかった事業者のうち、2件の事業者については、昨年10月までに事業計画や制度の趣旨に沿った経営に改善されており、1件の事業者については、休止していた飲食部門を今月から再開する旨の説明を受けたところですが、

今後、国の新たな財政支援を見極めつつ、若年層や高齢者、女性の起業を促し、地域の活性化に資する制度として有効に機能するよう取り組んでまいります。